

---

## 目次

---

### 【01】 平成27年度事業計画

#### 【02】 主要事業進捗

- ボランティア施策に関する基礎調査

#### 【03】 事業報告

- 府域の国際化をめざして--実践者インタビュー：池田市
- OFIX共催事業
  - ◎堺市外国人一日相談会
  - ◎「地震・防災を体験しましょう」和泉市共催

#### 【04】 国際人ネットワーク

- ソロモン諸島の紹介  
ステラ・ボケレマ (国際理解教育サポーター)
- 大阪府海外短期建築・芸術研修生招聘事業を終えて  
シャナカ ダナンジャーヤ (スリランカ・2012年度研修生)

#### 【05】 JICA大阪府デスク

#### 【06】 お知らせ

## 編集後記

---

### 【01】 平成27年度事業計画

---

平成27年度からスタートする新たな3か年の「大阪の国際化戦略アクションプログラム」([http://www.pref.osaka.lg.jp/kanko/kokusaika\\_action/](http://www.pref.osaka.lg.jp/kanko/kokusaika_action/))をふまえ、「OFIX 中期経営計画 (平成27-29年度)」([http://www.ofix.or.jp/ofix/profile/pdf/c\\_plan24.pdf](http://www.ofix.or.jp/ofix/profile/pdf/c_plan24.pdf))においては、(1) 国際理解教育の小・中学校への拡充、(2) 外国人相談窓口の市町村での開設促進、(3) 災害ボランティアの拡充を3本柱として推進していきます。

#### (1) 国際理解教育の小・中学校への拡充

府内学校の児童・生徒が外国に関心を持ち、様々な国についての理解を促進することをめざし、留学生等の外国人を国際理解教育外国人サポーターとして登録し、府内学校などで行う国際理解教育の講師として派遣します。早期英語教育の動向をふまえ、対象を高校から小・中学校へ拡大していきます。また、外国人サポーターへのプログラム研修を5月に実施します。

なお、今年度から、今後の事業へのフィードバックを目的に児童・生徒全員を対象とした満足度指標を測定しますので、ご協力をお願いします。

## (2) 外国人相談窓口の市町村での開設促進

府内に在住する外国人及び外国人と接する市町村等の窓口担当者を対象に、8か国語での相談対応や情報提供を行うとともに、地域での外国人相談のモデル実施として府内市町村及び国際交流協会との共催による一日相談会を堺市、四條畷市、和泉市等で実施します。さらなるご参加をお願いします。

## (3) 災害ボランティアの拡充

災害時の外国人支援の強化のためには災害時通訳・翻訳ボランティアの存在は不可欠であり、OFIXではその養成につとめています。その一環として6月19日に災害時通訳・翻訳ボランティアを対象とした研修を大阪市立阿倍野防災センターで実施します。また、市町村国際交流協会などとともに外国人向け防災訓練などを共催するなど、外国人支援の強化を図るとともにOFIXボランティア制度の充実を図ります。今年度から災害時ボランティアの拡充に努めていきますので、皆様のご登録をお待ちしています。

なお、大阪府国際化戦略実行委員会事業では、「おおさかグローバル塾」として、これまでの米国留学コース・英国留学コースに加え、今年度は新たに高校1年生を対象にオーストラリア留学コースを実施します。また、「グローバル体験プログラム」として、高校生を対象に空港カウンター等の模擬施設を活用した実践的な英語学習を実施します。このほか、海外から大阪へ優秀な留学生を呼び込むため、マレーシア（クアラルンプール）で12月に開催予定の「国際教育展」に出展し、大阪の留学情報を発信するとともに、大阪府内の大学や専門学校等と連携し、マレーシアの教育機関を対象としたセミナーや交流会を開催します。

くわしくは、大阪府国際化戦略実行委員会HPをご覧ください。  
(<http://osakaglobal.jp/outline/index.shtml>)

---

## 【02】 主要事業進捗

---

### ■ ボランティア施策に関する基礎調査

平成27年3月13日にOFIXと大阪府は、災害時において外国人支援を円滑に行うための「大阪府災害時多言語支援センターの設置・運営に関する協定書」を締結しました。これをふまえ、「災害時通訳・翻訳ボランティアなるほどガイド」（後掲）を作成し、今後これをテキストとした災害時ボランティア研修を実施していきます。

また、OFIXでは中期経営計画において災害時通訳・翻訳ボランティアの登録者数を毎年20人ずつ増やすことを目標とし、その実現をめざしています。こうしたことをふまえ、災害時ボランティアを災害時に確保・活躍できるようにするためのボランティア制度の構築に取り組む必要があります。そのため全国の自治体や国際交流協会の先進事例に学び今後の有効な方策を検討するため、先進自治体・協会への訪問ヒアリングと文献調査を実施しました。

なお、本調査結果の報告書はOFIXホームページに掲載しています。  
(<http://www.ofix.or.jp/accept/volunteer/pdf/volunteer.pdf>)

## (1) ボランティアの登録・管理

協会によっては、ボランティア情報を一元管理するための情報検索システムを構築しているところもあります。ボランティア活動希

望者は協会ホームページから登録ができ、ボランティアを依頼したい方はボランティアの検索・依頼が可能です。

また登録証やブルゾンの支給など、ボランティアのモチベーションアップの施策を取り入れている自治体もあります。

## (2) ボランティア研修

各自治体・協会ともに研修・訓練に力点を置いています。例えば災害時本番さながらの翻訳シミュレーション訓練や、災害時に立ち上げる多言語支援センターの設置、運営の模擬訓練などです。

## (3) 災害時の多言語支援センターの設置

事前に自治体と協会などが協定を結び、その協定に基づき発災時にセンターを開設するところが多いようです。

また実際に被災した県と協会のなかには、発災時協定はなかったものの締結を検討していたため、県と協会、さらに多文化共生マネージャー協議会の協力のもと、3者で役割分担し、スムーズなセンター運営を実現できたという例もあります。

今後OFIXでは、本調査の結果をもとに、災害時に有効に機能する災害時ボランティア制度の確立をはじめとする、OFIXボランティア制度の再構築を検討していきます。

併せて大阪府国際課及び危機管理室と連携し、大阪府災害時多言語支援センターにおける災害時のボランティアの運営体制を検討していきます。

---

## 【03】 事業報告

---

### ■ 府域の国際化をめざして--実践者インタビュー：池田市

OFIX共催事業や地域での取り組みなどについて、多文化共生・外国人支援等の担当者の方へのインタビューをお届けします。

今回は、3月にコミュニティ通訳・翻訳研修を共催した池田市観光・ふれあい課の金輝美（きむ ふいみ）さんにお話を伺いました。

金さんは、これまでも「池田くらしの情報」の多言語化や、やさしい日本語の取り組み、外国人のための一日相談会の実施など、池田市の在住外国人支援体制の推進をめざし、さまざまな取り組みをされています。

#### <池田市通訳翻訳ボランティア研修>

実施日：平成27年3月16日（月）

場所：池田市役所

プログラム：

講義 「池田市における在住外国人と多文化共生施策」

「日本社会における外国人住民の受入の現状とこれから」

ロールプレイ（教育・母子保健・行政サービスと在留資格）

参加者：4言語 22人（ロールプレイは3言語で実施）

インタビュー：

まずコミュニティ通訳・翻訳研修をOFIXと共催実施するにいたった経緯から教えてください。

-理由のひとつは担当をしていますが、実際にボランティアの方とお会いする機会がなかったので、両者の顔合わせの場を作りたいと感じていたことです。次にボランティアの活動場面を知ってもらうことと、ロールプレイを通じて自身のスキルアップに繋げていきたいという狙いもありました。しかし研修を企画するうえで、内容や講師の選定等について、こちらの意図を十分に理解し、市域の課題についても気兼ねなく相談できるのは、広域の国際交流組織であるOFIXしかないと思い、共催の申請をしました。

実際に研修を企画してみて、特に配慮されたことや工夫されたことはありますか？

-単にボランティアとしてではなく、これからますます増えていく外国人住民と共生する一市民として、外国人の方々が増えていく背景や施策、地域社会の住民としての意識をもってもらいたいという願いを込めてプログラムを組みました。

研修を実施した側としての変化は何かありましたか？

-ロールプレイでは職員が相談窓口役を担当したということもあり、職員の立場としてどのような通訳をしてほしいか、あるいはどのように説明すれば通訳しやすいか、外国人市民の方に伝わりやすいかを改めて考えるきっかけになりました。

今後の取り組み等について教えてください。

-多言語支援、とりわけ希少言語については、やはり広域連携が必要だと感じています。たとえばボランティア登録者のない言語については、近隣市町村・協会に協力してもらえるネットワークがあればとても有意義だと思います。  
また災害時の外国人支援についてはまだまだ取り組みが不十分なので、こちらについてもOFIXから支援をしてもらえると心強いです。

## ■ OFIX共催事業

◎堺市外国人一日相談会

日時：平成27年4月15日（水）

場所：堺市立国際交流プラザ

OFIXでは外国人の方が身近なところで相談を受けることができるように、市町村等と共催で一日相談会を行っています。今年度の第1回目は堺市と共催で開催しました。

相談会当日は、スカイプを利用した海外からの相談2件を含め12件の相談がありました。海外在住の外国籍者の日本にある家屋の相続手続き、別居している夫との離婚に係わる問題など複雑な相談が寄せられました。

法律や在留資格の専門相談員として弁護士と2人の行政書士に対応していただきました。また日本語ができない相談者には、堺市やOFIXに登録の語学ボランティアの皆さんに通訳として言語支援をしていただきました。

◎「地震・防災を体験しましょう」和泉市共催

日時：平成27年3月1日（日）

場所：大阪市立阿倍野防災センター

参加者は外国人市民7名を含む計11名で、大阪市立阿倍野防災センターで、さまざまな体験をしました。水消火器を使用した初期消火訓練では「消火器は家に必要なのか。」といった質問が飛び交うなど、

皆さん積極的に取り組む姿勢が印象的でした。地震発生後の町には危険が多く、気をつけるべき点を数多く学ばれたようです。最後に震度7地震体験コーナーで平成7年の兵庫県南部地震、また今後発生率が高いとされる南海地震の揺れを体感。しっかりハンドルを握っていないと飛ばされそうな感覚です。体験後には参加者同士が感想を発表しあい、日々の備えの大切さを再認識する良い機会となりました。

---

## 【04】 国際人ネットワーク

---

### ■ ソロモン諸島の紹介

ステラ・ボケレマ (国際理解教育サポーター)

皆さん、こんにちは、ステラ・ボケレマです。ソロモン諸島から温かいあいさつを申し上げます。大阪の大学で国際政策を専攻している大学院生です。2006年に来日して以来、日本の国、日本の文化と日本人が好きになり、日本が私の第二の故郷になりました。

国際交流活動に8年以上関わり、2014年にはOFIXの国際理解教育のサポーターになって、小・中学校、高等学校を訪問し、母国とその文化について発表しています。ソロモン諸島は多くの日本人には知られていないので、聞いたことのない、よく知らない場所の文化や習慣などを児童・生徒に教えることは楽しい体験です。すばらしい経験のできるこの活動にこれからも参加し続けるつもりです。

ソロモン諸島は、オセアニア地域に位置しており、オーストラリアの東北にあります。約900島で構成されて、その3分の1に人が住んでいます。約80-120の言語が存在しますが、よく話されている言語はピジンという英語がベースのクレオール言語です。英語は公用語であっても人口のたった2%の人しか話せません。

ソロモン諸島の主要な食べ物は魚介類とサツマイモ、キャッサバ、タロイモ、バナナなどの根菜類です。これらはよくココナッツミルクと一緒に料理しています。田舎の村で一般的に食べられているのは、ご飯と、「タイヨ」というツナ缶と野菜を混ぜ合わせたものです。これは安くて調理しやすいものです。マンゴ、パイナップル、パウパウ、ココナッツなどのトロピカルフルーツも人気です。

OFIXのサポーターとして、ソロモン諸島の楽しいこと、面白いことだけでなく、直面する課題なども教えています。OFIXのサポーターを検討している方がいれば、自分の成長にも役に立つとても重要な経験ができるので、ぜひ登録してください。

### ■ 大阪府海外短期建築・芸術研修生招聘事業を終えて

シャナカ ダナンジャーヤ (スリランカ・2012年度研修生)

持続可能な建築環境学を学ぶためスリランカ・ペラデニヤ大学の修士課程に入学した私は、2012年に安藤プログラム研修生として初めて日本を訪れました。

日本に着いて街がきれいで整備されていることに驚きました。それからは、毎日が新しい経験の連続です。実地研修では打放しコンクリート、最新技術、日本のランドスケープと建築について学び、一番の思い出は安藤先生の表敬訪問です。先生の情熱とビジョン、そしてシンプルな線のスケッチから生み出される傑作に感銘を受け、またデザイナーの自由な発想をどのように現実化していくのかについても考えさせられました。帰国後、今は「持続可能な資材の効果と建築の性能」をテーマに修

士論文に取り組んでいます。卒業後は、研修の経験を生かし、環境に配慮した省エネ性能の建築に携わるデザイナーとして活躍できたらと考えています。

研修で出会った人たちは私の宝です。私の結婚式にフィリピンの研修生が出席してくれたり、ハネムーンではタイの研修生と再会し歓迎してもらいました。知識や見解を広げるだけでなく、同じ目標を持つ優秀なそれだけで家族のような同志と出会えたことに感謝しています。

---

## 【05】 JICA大阪府デスク

---

みなさま、はじめまして！平成27年4月から大阪府の国際協力推進員になりました石田さやかと申します。OFIX内にあるJICA大阪府デスクで仕事をしています。

私は平成25年1月から2年間、青年海外協力隊として、バングラデシュに派遣されていました。バングラデシュでは、環境教育という職種で、首都のダッカの市役所の廃棄物管理局に配属され、市民に対する啓発活動をしていました。

ゴミのポイ捨てが習慣化しているバングラデシュでは、住民があちらこちらにゴミを捨てていて、街中にゴミが散乱していました。そんな状況を改善するために、市の職員とともに担当エリアにある学校を巡回し、ポイ捨ての影響をイラストなどで教えたり分別ゲームをしたりして、環境教育の授業を行っていました。また定期的に住民組織との廃棄物に関するミーティングを行いながら住民参加型の廃棄物管理を進め、さまざまなエリアで啓発活動をしていました。行政機関や地域の自治体と連携しての2年間の活動を通して、人と人とのつながりの大切さを学びました。

これからは、大阪府で「地域のJICA窓口」として、JICAの事業や国際協力に興味がある方などのご相談やお手伝いをさせていただきますので、「国際協力してみたい!! ボランティアに参加したい!!」など、少しでも興味がある方はぜひお気軽にお問い合わせください。

---

## 【06】 お知らせ

---

### ■ 災害時通訳・翻訳ボランティアなるほどガイドを作成しました！

OFIXでは、災害時通訳・翻訳ボランティアの育成・制度の拡充に努めています。

このたび、ボランティア研修時のテキストとして活用する「災害時通訳・翻訳ボランティアなるほどガイド」ができ上がりました。ボランティアの方はもちろん、市町村の窓口で担当者や在住外国人の方にも参考にさせていただけるガイドです。ぜひ、下記よりダウンロードしてご活用ください。

([http://www.ofix.or.jp/pdf/news20150317\\_1.pdf](http://www.ofix.or.jp/pdf/news20150317_1.pdf))

### ■ 外国人のための一日相談会（通訳あり）

#### (1) <夜間外国人向け相談会>

6月5日（金）午後6時-8時

四條畷市立市民総合センター

相談内容：在留資格、生活一般

#### (2) <外国人のための相談会>

6月7日（日）午前11時-午後3時

和泉市役所

相談内容：法律、在留資格、労働、生活相談など

(3) <外国人のための一日インフォメーションサービス>

6月28日(日) 午前11時-午後5時

大阪国際交流センター

相談内容:法律、出入国・在留、労働、保険年金、医療

■ 参加募集

※お申し込み等は、各項目のOFIXホームページURLからご覧ください。

◎ コミュニティ通訳ボランティア研修参加者募集

大阪府域の多言語支援を担うコミュニティ通訳ボランティアを養成するための研修を、今年度も下記日程で実施します。

「これから活動を始めたい!」という方や、「活動はしているけど新しい制度等について学びたい」という方は、ぜひご参加ください。

日時:平成27年5月29日(金)・6月3日(水)

午前10時-午後4時

場所:マイドームおおさか8F

内容:講義(ボランティアとしての心構え、在留資格、教育等)、ロールプレイ等

URL:<http://www.ofix.or.jp/news.html#20150424>

◎ 災害時通訳・翻訳ボランティア研修参加者募集

災害時に情報弱者となりうる外国人府民の方々への多言語支援の必要性が叫ばれているのと同時に、災害時通訳・翻訳ボランティアの重要性も高まりをみせています。

研修を通じ、自分が災害ボランティアとして何ができるのかを考えてみませんか?

日時:平成27年6月19日(金)

午前10時-午後4時

場所:大阪市立阿倍野防災センター

内容:講義(災害時ボランティア制度、大阪府内の自然災害等)、災害時翻訳体験等

共催:大阪府(危機管理室、国際課)

URL: <http://www.ofix.or.jp/news.html#20150424-2>

編集後記

●新年度が始まってはや1か月。年度替わりのこの時期、みなさんの周りでも、たくさんの新しい出会いや別れがあったのではないのでしょうか。さて、出会いといえば、巻頭ページの主要事業進捗の記事にもあるように、2月から3月にかけて全国の自治体や国際交流協会をヒアリング調査で訪れました。行く先々で、情熱を持って業務に取り組んでおられる職員の方々にお会いし、どんな事業も担当者の熱い思いなくして成功・継続させることはできないのだと実感しました。(M.T)

=====

【大阪府外国人情報コーナー】 (OFIX内)

外国人のための無料相談窓口です。  
(在留資格、労働、医療、福祉、生活などの相談)  
相談時間 午前9時-午後5時30分(月曜から金曜)  
休憩 (午後0時15分-午後1時)  
専用電話 06-6941-2297  
相談言語 英語、韓国・朝鮮語、中国語、ポルトガル語  
スペイン語、タイ語、フィリピン語、ベトナム語  
E-メール jouhou-c@ofix.or.jp

=====  
=====  
★大阪府メ-ルマガジン情報★ 『G E O (Global E-net Osaka) 』  
大阪で開催されるイベント・大阪の名所・大阪に関する豆知識等を紹介する  
メ-ルマガジンです！  
⇒ <http://www.pref.osaka.jp/kokusai/geo/index.html>

★その他の募集・お知らせ★  
※国際理解学習の授業(小中高)に国際交流員や留学生等を派遣します。  
⇒ <http://www.ofix.or.jp/training/education/index.html>  
※OFIXボランティアの登録制度のご紹介  
⇒ <http://www.ofix.or.jp/accept/volunteer/system.html>  
※OFIX賛助会員の募集及びご寄付のお願い。  
⇒ <http://www.ofix.or.jp/ofix/support/index.html>

=====  
=====  
≫≫ OFIXニュースについてのご意見、ご感想はこちら  
⇒ [info@ofix.or.jp](mailto:info@ofix.or.jp)

≫≫ 配信中止、配信先変更はこちら  
⇒ [http://www.ofix.or.jp/info/mail/register\\_j.html](http://www.ofix.or.jp/info/mail/register_j.html)

≫≫ 「OFIXニュース」印刷版はこちら ※写真入りで内容も詳細に。  
⇒ [http://www.ofix.or.jp/info/mail/backnumber/pdf/mail\\_japanese\\_no72.pdf](http://www.ofix.or.jp/info/mail/backnumber/pdf/mail_japanese_no72.pdf)

≫≫ バックナンバー  
⇒ <http://www.ofix.or.jp/info/mail/backnumber/index.html>

=====  
=====  
☆☆  
発行：(公財)大阪府国際交流財団 (OFIX)  
〒540-0029 大阪府中央区本町橋2-5 マイド-ムおおさか5階  
TEL 06 (6966) 2400 FAX 06 (6966) 2401  
☆☆